

2019年10月8日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 常磐線(各駅停車)に自動列車運転装置(ATO)を導入します

JR東日本では、鉄道の質的な変革の取組みとして、「サービス」や「安全」、「保守」、「運行」、「環境」など様々な側面からスマートレインを実現することを目指しています。

その一環として、JR東日本としては初めて自動列車運転装置(ATO)を常磐線(各駅停車)に導入します。ATOの導入およびATO導入後に整備するホームドアにより、さらなる輸送の安全・安定性向上を図ります。

### 1. 導入区間

常磐線(各駅停車) 綾瀬・取手間



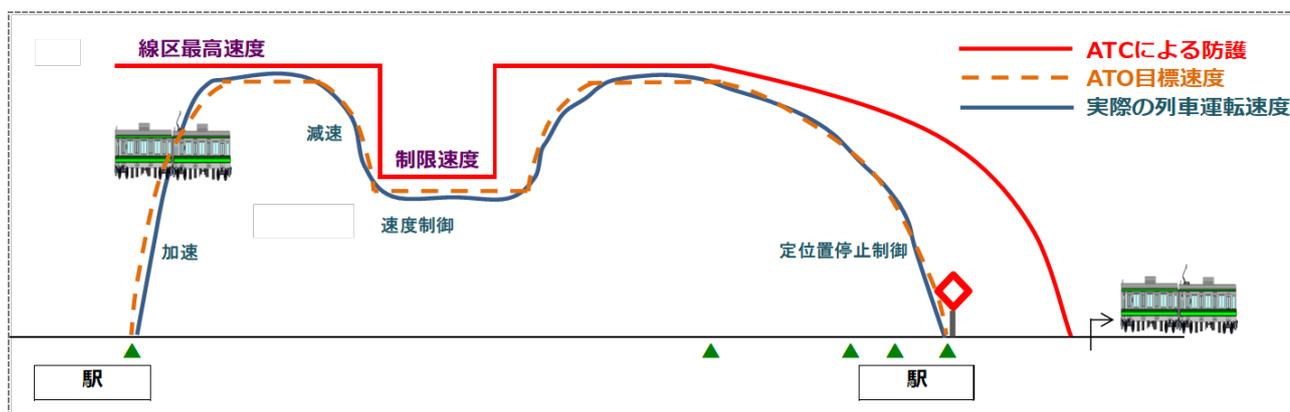
常磐線(各駅停車) E233系

### 2. 導入時期(予定)

2020年度末

### 3. 自動列車運転装置(ATO)について

ATOとは、列車衝突や速度超過を防ぐ保安装置(自動列車制御装置:ATC)が許容する速度以下で、列車の加速・減速、定位置停止制御などを行う装置です。



ATOによる列車制御のイメージ

### 4. 今後の目指す方向

今回の導入により得られた知見を蓄積し、将来のドライバレス運転を目指したATOの開発を進めていきます。